

越前町議会・令和4年12月定例会一般質問【吉田憲行議員】

(令和4年12月6日 午前10時46分 開始)

○3番(吉田憲行君) まず最初に、今日、福井新聞において、創作和太鼓集団O・T・A・I・K O座明神、地域文化功労賞に選出されたという記事を拝見しました。越前町としても大変誇らしく思います。これからも皆さんに頑張っていて、町を盛り上げていていただきたいと思います。

さて、議長のお許しを得ましたので、通告書に基づき一般質問を始めさせていただきます。

越前町における充実した学校教育環境の実現のための適正な学校規模の達成について質問いたします。

平成17年、4町村が合併し越前町が誕生しまして、町に小学校が8校、中学校が5校となり、平成17年度現在で、小学校の児童数は8校で1,467名、中学校の生徒数は5校で773名在籍しておりました。小学校でいうと1校平均183名、中学校でいうと1校平均154名であります。

では、現在の小・中学校の数、児童・生徒数はどのようになっているのでしょうか。令和3年度において、小学校の数は8校で増減なし、中学校の数は4校となり1校減少しております。また、小学校の児童数は989名で478名減少、中学校の生徒数は588名で185名の減少となっております。小学校では1校平均123名、中学校では1校平均147名であります。16年間で1校当たりの小学校の児童数が60名減少、中学校の生徒数が7名減少となっております。

ここで注目していただきたいのは、中学校は1校統合され、1校減少したため、平均の生徒数が中学校は7名の減少にとどまっていることです。

さて、ここで1つ目の質問をいたします。

平成21年に糸生中学校が朝日中学校に統合された経緯をお教え願います。それとまた、そのときに町全体で小・中学校の再編に対する機運は高まらなかったのかどうかをお教え願います。

○副議長(佐々木一郎君) 教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長(菅原辰彦君) それでは、吉田議員のご質問にお答えしたいと思います。その前に確認をお願いいたします。当時の学校名は、朝日中学校が朝日東中学校、糸生中学校が朝日西中学校でしたが、説明の都合上、朝日中学校と糸生中学校に統一して説明をさせていただきたいと思っております。

まず、朝日中学校と糸生中学校の統合の経緯ですが、平成13年度に朝日中学校の耐震診断を実施し、その結果はC判定で、緊急度はBというものでした。その後、平成15年度に朝日中学校整備検討委員会を設置、開催し、委員会からの答申は、糸生中学校との統合も視野に入れた移転新築が望ましいというものでした。

平成16年度には中学校統合問題検討委員会を設置し、協議を重ね、統合が子どもたちにとってよりよい未来につながるという答申があり、併せて建設候補地3か所が示されました。その後は、新中学校の建設検討委員会、建設推進委員会での協議を経て、平成19年度に朝日中学校開校準備委員会を設置するとともに、工事に着手し、平成21年4月に開校に至ったというのが統合の経緯です。

また、このときに学校再編の機運は高まらなかったのかとのお質問ですが、朝日中、糸生中の統合を進める中で、朝日地区では、小学校においても児童数の減少

などから、再編の声もあったようですが、当時の理事者も着手の判断までには至らなかったようです。他の地区においても、100人未満の小学校は萩野小学校のみであったため、学校再編の機運は高まらなかったものと考えております。

以上でございます。

○副議長（佐々木一郎君） 吉田憲行君。

○3番（吉田憲行君） ありがとうございます。

一般に再編といっても、学校の再編にはすぐに取りかかれるものではなく、機運が高まらなかったことは仕方がないかもしれません。しかし、町は児童・生徒数が急激に減少していき、その勢いが止まらない中、平成30年8月に、越前町における学校教育環境の現況と今後の在り方について調査及び検証を行う目的に、越前町学校教育環境調査委員会を設置し、学校教育環境に関するアンケート実施、それに基づく令和元年に越前町学校教育環境検討委員会を設置、7回の委員会を開催し、その間、教育の振興に関する大綱の策定も経て、令和3年3月、越前町の学校教育環境に関する提言書を、検討委員会から当時の教育長に提出されました。平成30年から2年半かけて、教育環境に対する作業には大変なご苦労があったと思われまます。

奇しくも、令和3年、昨年6月の定例会において、小・中学校の適正規模、適正配置についての質問を私が行い、そのときに、住民の方々と相互理解を深めながら進めていくという答弁をいただき、越前町小中学校再編基本方針（案）を作成され、現在までに各小学校区での説明会、再編対象学区での地区懇談会を開催されております。

学校の再編に関しては、大変デリケートな問題であり、慎重かつ丁寧に進めていかなくてはいけないことは十分分かります。しかし、町としても、平成30年から懇談会に至るまで、学校教育環境について丁寧かつ慎重に作業を進めてきたと、私は思っております。

ここで、2つ目の質問をいたします。

説明会、懇談会の参加者の意見を見ますと、越前町小中学校再編基本方針はまだ案の段階ですが、小・中学校の現状、将来の展望、再編スケジュールを示しつつ、懇談会等を開催していると思えます。しかし、1年以上経過した段階で、私自身、全く先が見えていないと感じております。町として、現時点で越前町小中学校再編基本方針（案）どおり小・中学校の再編スケジュールが進んでいると思われまますか。

また、地区によっては、早く再編に着手してほしいという保護者が多いと聞いております。そのような地区は、スケジュールを前倒しにでもして早めることはできないものなのでしょうか。理由を添えて、出口教育長、お答え願います。

○副議長（佐々木一郎君） 出口教育長。

○教育長（出口俊一君） それでは、私のほうからお答えをいたします。

再編がスケジュールどおり進んでいるかというご質問でございますが、まず、ご理解いただきたいのは、この再編基本方針（案）はあくまでもたたき台であり、示されているスケジュール等は絶対的なものではなく、最短で進めた場合のスケジュールを目安としてお示ししたものです。基本的には地域住民の方々のご意見を伺いながら慎重に進め、スケジュールについても柔軟に対応したいと考えております。

その上で、再編基本方針（案）のスケジュールどおり進んでいるかといいますと、確実に前進していることは間違いございませんが、コロナ禍による懇談会の中断

もあり、やや遅れ気味となっております。

また、各地区においては、再編に対する考え方や捉え方について、多少の温度差がございます。今は丁寧な説明と意見交換を行うことで、各地区の考え方や方向性を把握しているところです。議員ご質問のように、各地区において、早く進めてほしいというご意見が多数を占めるようであれば、スケジュールの前倒しについても前向きに検討していきたいと考えております。

以上です。

○副議長（佐々木一郎君） 吉田憲行君。

○3番（吉田憲行君） ありがとうございます。

確かに再編基本方針（案）はたたき台かもしれませんが、さきに述べたとおり、町として、平成30年から教育環境について検討を進めてきております。再編基本方針（案）が作成された段階で、再編を望んでいる保護者の方にしてみれば、最短の実施を望んでおります。越前町小中学校再編基本方針（案）では、一番早い小学校の再編が令和6年4月、次に令和8年4月、次に令和9年4月、次に令和11年4月となり、一部の在校生の保護者の方の立場にしたら、自分のお子さんには関係ないと思っております。

再編のやり方、例えば越前地区での再編については、低学年対応の設備改修が必要となるであろう中学校の一体化ではなく、城崎小学校に再編するとか、中学校も具体的な再編を提示するとか、再考していくべきではないかと思えます。今後、お子さんの越前町への転入者がいない場合、越前町全体で1学年100名を下回することは、統計上ははっきりしております。来年、「はたちのつどい」がある対象者は240名ほどと聞いています。そこから考えると、もう半分以下になっております。そのこのところを十分留意して、3つ目の質問をいたします。

学校教育環境の整備は、誰のための問題と考えておりますか。また、できましたら理由を添えて、教育長、お答え願います。

○副議長（佐々木一郎君） 出口教育長。

○教育長（出口俊一君） 学校教育環境の整備は誰のためかといいますと、学校とは教育の場であるという視点から判断すれば、当然に子どもたちのために整備するもので、教育委員会としましては、子どもたちにとってよりよい教育環境の提供を実現するという強い気持ちを持って取り組んでおります。

ただし、学校は教育の現場であると同時に、防災や子育ての拠点としての側面も持ち、地域コミュニティのシンボリックな施設でもあることから、地域の意向を十分に踏まえながら丁寧に進めてまいります。

以上です。

○副議長（佐々木一郎君） 吉田憲行君。

○3番（吉田憲行君） ありがとうございます。

統廃合に伴う学校再編は、地域コミュニティの核としての学校の役割を考えることは重要ですし、十分理解しております。また、廃校した学校をどのように活用していくかも考えていかないといけないと思えます。だから、再編、合併に関しては、17年間進まなかったと認識しております。ただし、今が子どもたちの教育環境をスピード感を持って考えるタイミングだと思えます。

4つ目に質問いたします。

越前町小中学校再編基本方針（案）は、いつになったら案でなくなるのでしょうか。再編計画の見直し、例えば再編スケジュールの変更は考えていないのでしょうか。そして、再編計画を速やかに実行していただけるのかどうか、それは最短

でいつなのか、青柳町長、お考えをお答え願います。

○副議長（佐々木一郎君） 青柳町長。

○町長（青柳良彦君） それではお答えいたします。

まず、再編基本方針（案）がいつになったら案が取れ、正式な再編基本方針になるかという点ですが、これにつきましては、現在、地域の皆様と意見交換を行い、手順を踏んで、そのための作業を進めているところでございます。再編計画の見直しにつきましても、スケジュールの変更や内容の変更を含め、各地区の意向を踏まえた結果、必要と判断すれば柔軟に対応してまいります。

また、再編基本方針がまとまった後は、速やかに再編準備を進めたいと考えておりますが、今ほど申し上げましたとおり、現在は各地区で意見交換を行い、合意形成を図っている段階でありますので、再編の具体的な時期については、ここで名言することはできません。ただし、再編の考え方において、地区ごとの温度差が大きく、全体の方針を固めるのに想定以上の時間を要するというのであれば、地区単位で進めていくことも検討しています。

いずれにいたしましても、子どもたちの教育環境の適正化を図ることは、最も重要な課題の一つと捉えており、これまで以上にスピード感を持って取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○副議長（佐々木一郎君） 吉田憲行君。

○3番（吉田憲行君） ありがとうございます。

令和4年4月に、隣町である南越前町において、南条中学校、今庄中学校、河野中学校の3校が再編され、南越前中学校が開校されました。南越前町の教育課に話をお聞きしますと、令和2年3月の定例会で、町長が町内3校の中学校を統合し、令和4年4月に1つの中学校として開校すると表明し、同年6月、令和2年6月に第1回南越前町立中学校統合準備委員会を開催し、本格的に再編に向け事業をスタートしたということです。幾度かの委員会、地区の説明会を経て、目標どおり、令和4年、今年4月に開校いたしました。令和2年1月の教育委員会で学校再編についての方針決定から、僅か2年3か月余りで再編を成し遂げられたという隣町の例がございます。

南越前町では、小学校同士の距離が離れておりまして、合併した3町で4校しかないこともあって、小学校の統合は当初から考えていなかったということです。しかし、中学校の再編は優先的に考えていきたいという意向もあり、当町とはちょっと教育環境が違うんですけれども、2年余りの再編ということは、頭が下がる思いでございます。やればできるという考えを持っております。

再編作業を進める中で、助言サポーターとして元教師の方が、再編を進めていく中で、教育側からのアドバイスをを行い、大いに役に立ったそうです。南越前中学校で統合後、今年6月、全生徒にアンケートを実施した結果、統合してよかったという意見が、総合で80%以上、項目別、例えば部活とかそういった項目別では、90%以上の生徒が統合してよかったという回答をしたということでもあります。

高齢化社会において、高齢者に対する施策を厚く速やかに実行することは、高齢者の分類に当たる私にとっても大変ありがたいことだとは思いますが、今後、越前町を支えていく児童・生徒に充実した教育環境を実現していくことは、学業面、教育面で子どもたちの可能性を伸ばしていくものです。また、未就学児のお子さんがいる子育ての親御さんにとっても、これから進学する、通学する学校がどの

ようになるか、大変不安を持っていらっしゃいます。

再編に向けて基本方針を作成されても、案のまま1年と半年以上が経過していません。今ほど青柳町長にはスケジュール変更、内容変更等、柔軟に対応するとの答弁をいただきました。できれば基本方針（案）でのスケジュールを前倒しし、再編地区の順番の変更も考慮願います。そして、一日でも早い実行をお願いします。

町は平成30年から教育環境について検討を進めてきており、既に4年が経過しております。そして、越前町小中学校再編基本方針（案）が策定されてからも、2年、3年経過しても方向すら提示できておりません。先送り感が否めません。今後、何年後に再編されるかという、すごい私自身も懐疑心を持っております。私は、複式学級や小規模校が全てデメリットであるとは、全く思っておりません。良い面もあります。しかし、子どもたちの可能性、将来性は無限大です。部活の地域移行等も含め、様々な選択肢を子どもたちに与えてあげる持続可能な教育環境づくりは大変大切だと思います。現場の先生方も子どもたちに向き合いながら、物すごく頑張っていると思います。

町としても、再編に対する方向性を確定して、児童、生徒、先生方、保護者、地域の皆さんが安心して学び進めていけるよう、越前町全体の機運を高めるよう、大変だとは思いますが、素早く進めていくことをこの場で要望し、これからも進捗度合いを私なりに確認してまいりたいと思いますので、一つよろしく願いいたします。

ここで私の質問を終了いたします。ありがとうございました。

(午前11時6分終了)